

# 幹線道路の整備でまちを活性化 津波対策で暮らしの安全を確保

市内では、川崎区から細江区までを結ぶ山の手幹線改良工事、地頭方から東名相良牧之原インターチェンジまでを結ぶ国道473号相良バイパス工事などが実施されています。まちに主要な道路ができることにより、企業進出や土地の有効利用が期待されるとともに、生活の利便性が向上します。勝間田川水門設置工事や静波海岸の避難地公園整備事業も進められ、東海地震による津波被害を最小限にする対策が取られています。

問い合わせ  
 ▶市の事業＝道路整備室 辻村 ☎ (53) 2628  
 ▶県の事業＝建設管理室 飯塚 ☎ (53) 2627



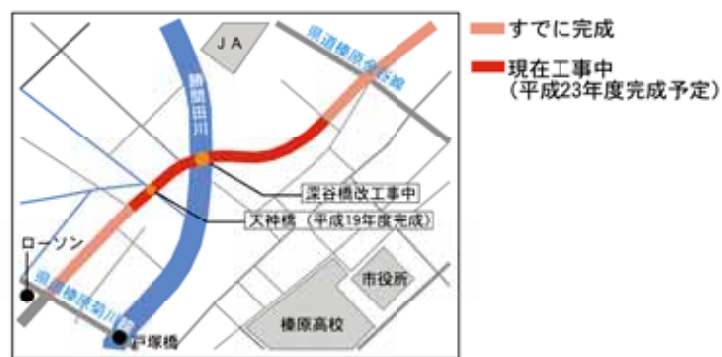
改良工事中の山の手幹線深谷橋

## 市 道路 山の手幹線改良工事 旧国道150号の渋滞を緩和 幹線沿いにはにぎわいが

山の手幹線は、県道菊川線原線と県道細江金谷線を結ぶ幹線道路です。市総合計画における戦略プランでは、重要路線として地域融合幹線道路に位置づけられています。

この幹線道路は、旧国道150号が交通量の増加により、渋滞するようになったことや、道幅が狭くトラックなどの大型車の通行が難しいこと、歩行者の安全も確保されていないことから、それらに対応できる幹線道路として昭和42年度に都市計画決定され、昭和46年度から整備が開始されました。

勝間田川に架かる深谷橋（延長50・5メートル）の橋台や橋脚の整備は、平成20年度に着手されました。本年度から来年度にかけて、本年度から来年度にかけて、架設工事と橋の前後延長310メートルの道路改良工事が実施され、平成24年3月の完了を目標に進められています。これにより山の手幹線の全延長3300メートルのうち3050メートルが完了します。



通勤時間帯などには交通量が増加し渋滞する静波3丁目交差点。



歩行者が安全に通行できるよう歩道も整備された。



山の手幹線の周辺には住宅が立ち並び始めている。



すでに工事が完了している道路脇には店舗や住宅が建ち、にぎわいが生まれている。

### 市民インタビュー



川崎区長  
増田立義さん

#### 深谷橋の開通が楽しみです

深谷橋の北側に住む園児や児童の多くが、深谷橋を通過して通園・通学をしていました。今は工事中なので、戸塚橋へ迂回して通っています。深谷橋が開通すれば子どもたちが安全に通園・通学できます。庄内方面から深谷橋への進入もスムーズにできるようなので、今から開通が楽しみです。



静波区長  
須藤信夫さん

#### 榑原総合病院の利用も便利に

現在は山の手幹線改良工事により、朝と夕方には静波3丁目の交差点付近で渋滞が見られます。工事が完了すれば、以前より交通の流れがよりスムーズになります。東名相良牧之原インターチェンジ方面から榑原総合病院までのアクセスも良くなりますので、病院がより多くの人に利用されることを期待しています。